

# 屋上緑化のあれこれと植物材料のご紹介

雪印種苗(株) 種苗部

植生課 竹 浪 昭 彦

## はじめに

我々が身近に接することの出来る瑞々しい樹木や草花，その集合体としての緑豊かな空間が，日常利用するビルの屋上やベランダに再現出来れば，と願うのは限られた人だけの思いではないと思います。

「屋上緑化」の原点はひょっとして，そんな極ありふれた樹木や草花を無機的な建築空間としての屋上に，何とか持ち込み，彩りを加え，継続的に楽しみたい，という素朴な動機からではなかったかと思ったりします。

依然として厳しい社会環境下ではありますが，緑に関わる一員として，この屋上緑化に触れながら，当社の緑化植生事業の取組みの一部をご紹介したいと考えます。

## 屋上緑化の昨今

従来の屋上緑化導入のために必要な造園緑化技術，その受け皿となる建築関連技術は随分と研究され，進展し，工夫された技術として様々の形となり，今日の基礎となっていると思います。ただ，近年，その「屋上緑化」の存在意義は，社会

構造の急速な進展，地域インフラや都市化とともに大きく様変わりし，ひとつには，地球温暖化に対する抑止効果としての緑化空間，またひとつには，失われた自然環境復元のための貴重な都市空間である，という大テーマとして位置づけられることにより，従来の箱庭的，個性的で完結型のものから，急遽開かれた公共性を含む広がりを持った，生きて機能する空間が求められることになったと思われまます。

そのための手段として，「比較的大きな面積を，ローコスト，ローメンテナンスで早期に緑化可能な技術，手法の構築」という難題がにわかにくローズアップされて来ているのではないのでしょうか。

現在，国や自治体も関連する事業推進に向け，補助金制度の導入や建築物への緑化義務づけ等様々の対応，施策を打ち出しており，我々民間の緑化植生事業に関わるものにも，この可能性を高めるための更なる技術の向上，工法や緑化資材の工夫が期待されているところだと思えます。

## 屋上緑化に利用可能な植物材料のご紹介

「屋上緑化」関連事業の一環として，特殊環境

## 牧草と園芸・平成14年(2002)10月号 目次 第50巻第10号(通巻596号)



エダマメ 春の舞

府県向・これから播ける秋播きムギ類ラインアップ .....	表
屋上緑化のあれこれと植物材料のご紹介 .....	竹浪 昭彦 ..... 1
牛糞堆肥を使った「生ごみ」の堆肥化 .....	リンドフ キチヨ ..... 5
秋冬系コマツナ新品种	
「まっちゃん(CM-3)」の特性と栽培の要点 .....	本多 範久 ..... 9
新製品紹介・自動哺乳機専用代用乳「カーフミルクAT」 .....	阿部健太郎 ..... 13
府県向・もうかる品種を選びましょう・秋播きダイコン優良品種 .....	表
サイレージの二次発酵に・サイロ見張番MO .....	表

でも充分生育が出来，ローメンテナンスで導入し易い植物の選定を継続しておりますが，現在取り扱っている植物材料の中から，セダム（マット状セダム育成苗「スノーネオプラント」）についてその概要と緑化事例を以下にご紹介致します。

## セダム（マット状セダム育成苗「スノーネオプラント」）の概要

セダムは，国内でもいくつか自生種が見られるベンケイソウ科の多肉植物の総称で，世界各地にもたくさんの種類があり，目的により様々な場面



ヨーロッパマンネグサ



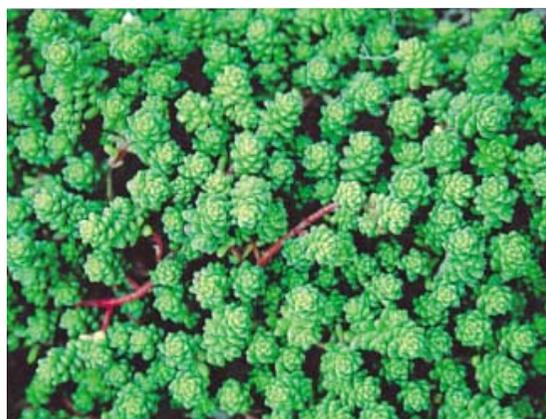
メキシコマンネグサ



サカサマンネグサ



ツルマンネグサ



タイトゴメ



コッシニューム

で緑化材料として利用されています。

特徴として乾燥に非常に強く、また、肥料分や基盤となる土壌の要求度合が極めて低いため、厳しい環境条件でも良好に生育し、維持管理の省力化が可能です。屋上緑化以外でも、建築外構緑化、道路分離帯、住宅屋根、庭園内でも実際、幅広く利用していただいております。

草種により、花がきれいなもの、草丈が高いもの、低いもの、茎葉部が色づくものなど様々選べるため、それらの特性を組み合わせることにより、修景的なコントラストも演出可能です。

現在取り扱っている草種の中からいくつかの写真をご紹介します。

(生産は水溜用の育苗トレイ(0.27<sup>M</sup> × 0.6<sup>M</sup>)で行われ、土壌厚25mmでマット状に育成しております。)



キリンソウ



混植タイプ

(ヨーロッパマンネングサ・サカサマンネングサ・コッシニューム・キリンソウ)

### セダム導入事例

次に、先にご紹介したセダムを使用し、施工さ

れた事例を3ヶ所ご紹介します。

各事例は、新築の建築物屋上部分になりますが、それぞれ地上からの高さや、屋上部の立地条件が違うことから、事前調査をし、適応する種類や生育基盤に配慮して設置されております。

各事例から、季節毎の違いや、品種毎のコントラストが確認出来ると思います。

#### 1. 東京都中央卸売市場 品川食肉市場



メキシコマンネングサ (2月撮影)

#### 2. 東海大学医学部付属八王子病院



メキシコマンネングサ・タイトゴメ・モリムランネングサ・混植タイプ (11月撮影)

### 3. 赤坂溜池タワー



混植タイプ（9月撮影）

#### その他の植物材料

いままでご紹介してきたセダムの他に、現在、ダイカンドラマットも取扱を始めております。このダイカンドラは、ヒルガオ科の暖地型グラウンドカバープランツですが、省力管理が可能で、地域により冬期半枯れ状態になるところもありますが、見苦しいというわけではなく、季節が進むと回復してくるので、年間を通じて均一な状態で楽しめる材料の一つではないかと思えます。



東京都内区役所での展示例  
（6月撮影，中央がダイカンドラ）

#### おわりに

繰り返しになりますが、屋上緑化を取り巻く状況は、かなりのスピードで進展しており、様々な試みや、多方面からの新たな取組みも見られるようですが、基本的に主役はやはり、命の通う植物であり、見方を変えると、人の健康を預かり維持



ダイカンドラマット単体  
（水稲用育苗トレイを利用）  
寸法：0.27<sup>M</sup>×0.6<sup>M</sup>



ダイカンドラマットを2枚並べた状態

する医学の難しさと同様に、簡単には解明されないことが多々あるため、安易にスピードアップを図るのではなく、慎重な対応も必要になってくると考えます。

要望は、屋上緑化から、壁面緑化、劣悪環境下の緑化、無管理緑化と、ドンドン高まって参りますが、植物を扱う上で大切なことを見失うことなく、自然環境を維持保全し、将来の世代にパトタッチ出来るよう、小さな仕事をひとつひとつ積み重ねていくことも、みどりに関わる我々に求められていることではないかと思えます。

今後、いろいろな場面で利用導入可能な植物材料の選定を見極め、低コスト・ローメンテナンスにつながる関連資材や工法についての調査、研究を重ね、より良い材料の供給と緑化についてのご提案が出来るよう努力して参りますのでよろしくお願い致します。